

松尾小学校・豊岡小学校統合準備委員会 第2回総務部会要点記録

1. 日 時 平成29年6月29日(木) 18時30分から20時38分
2. 場 所 松尾ふれあい館 2階 農事研修室
3. 出席委員 19名
4. 次 第 (1) 開会
(2) あいさつ
(3) 議題
①校名候補の選定について
②通学路・通学方法について
③体操服等の選定について
④閉校記念事業について
⑤その他について
(4) 閉会
5. 事務局説明者 学校再編推進室長ほか

議題についての意見の概要は次のとおり。

(1) 校名候補の選定について

【事務局の説明】

- 第1回総務部会 校名選定についての意見集約
- 松尾小・豊岡小の統合小学校の校名 募集要領(案1、案2)

【意見の概要】

- ・まとまってできているのではないか。
- ・一般の募集要項では応募期間が定められているが、学校の児童用にはないのか。
➤学校あてに依頼文を出す予定であり、そこへ期間を記載する。1学期中の取りまとめを予定。
- ・案1(文字版)、案2(イラスト版)のどちらがいいか。案2は案1よりも説明を省略している。
➤案1: 挙手なし
案2: 全員挙手 案2とし、修正、加筆をしていく。
- ・応募条件の「漢字、ひながな、カタカナを使用する」という断りについて、応募用紙の「新しい学校名」にあるスペースに入れてはどうか。
- ・公募校名に関する権利について、トラブルを招かないように、「山武市教育委員会に帰属する」と入れてはどうか。問い合わせが来る可能性もある。
- ・校名決定のプロセスについては、この要領を見る一般の人にはわからない。ホームページ等で工夫してはどうか。
- ・募集期間について意見はあるか。
➤なし。

【まとめ】

- ・募集要領、応募用紙については案2を基本とし、修正、加筆する。
- ・募集要領に断りの文言と決定までのプロセスを入れ、投票用紙を別にするか、すべて1枚にまとめるかで、工夫して作成する。
- ・募集期間は、案のとおり7月18日から8月10日までとする。
- ・応募内容については、集計後に総務部会を開催し、校名を選定する絞り込みの作業をする。最終的には教育委員会へ上程し、その後議会の承認を得る。

(2) 通学路・通学方法について

【事務局の説明】

- 通学方法の検討について
- 通学路・距離に関する資料

【意見の概要】

- ・豊岡小学校の通学の現状と統合後の考えを保護者に確認した結果は次のとおり。
 - 蕪木地区：現在は徒歩で通学。統合後は、現在松尾小学校まで通っている児童と一緒に徒歩で通学をしたい。
 - 山室・引越・谷津・古和地区：途中まで保護者が車で送り、集合場所から徒歩で通学。統合後は、全く歩かないのは良くないので、ある程度は歩かせたいという意見が多い。
 - 金尾地区：現在は徒歩で通学。統合後にスクールバスが出るなら、小学校付近まで行って、そこからスクールバスで行きたい。
 - 小川・上大蔵・下大蔵地区：道が狭く、距離もあって危険なので、県道沿いの広いスペースに集まり、集団登校している。統合後にスクールバスが出るなら、決められた場所までの車での送迎は構わない。豊岡小学校方面へ集まるよりは国道を通る方が松尾小に近いので、近くで集合し、集団登校させたい。一部では別々に登校させたいという意見もある。
 - 小川遠久田地区：現在は児童がいない。
- ・スクールバスを出すというのが、教育委員会の基本的な考え方になるのか。
 - 文部科学省の指針では概ね4kmとなっており、4kmを超える場合はスクールバスの運用が考えられる。一概に4kmなのかについてはもう少し時間をかけて検討したい。
- ・豊岡小学校の児童数が減っているが、今後の推計はどうなるのか。
 - 平成27年度の推計になるが、27年度が47人、33年度が39人と、徐々に減少していく。
- ・30人から40人なので大型バスにはならないとは思いますが、基本は朝1便、夕方1便になるのか。
 - 部活動もあるので、朝2便、夕方2便になると思われるが、決定していない。
- ・スクールバスに乗って集合場所に行くのか、集合場所からバスに乗るのか。徒歩の地区もあるようだが、どちらがいいのか悩む。
- ・(事務局より)平成16年度の豊岡小学校の改築当時は、南北2ルートに分け、各地区にバス停を1か所程度設け、バスを使って松尾中の校舎へ通学していたようである。

- ・理想は徒歩での通学だと思うが、当時はほとんど歩かなかったのか。
 - ほとんど歩かない。中学校近くの地区であっても、児童はバスに乗って中学校へ通っていた。
- ・松尾町八田地区の横芝光町との境にもスクールバスは出るのか。
 - ある一定の基準が必要になると思うが、即答はできない。
- ・松尾町八田地区の現状であるが、お寺まで保護者が車で送り、そこから集団登校をしている。
- ・学童クラブを利用していけば、帰りは学童クラブのある洗心館に親が迎えに来ることになる。
- ・先にバスになるか、後にバスになるのかということになる。
- ・自転車で通学させる案はないのか。
 - 市内の一部地域は自転車通学をしているが、松尾小へ行くには、国道や中学校近くの急な坂道もあり、安全面を考えると不安である。

【まとめ】

- ・バスの乗車場所、集合などを含めた資料を事務局で作成し、次回提示する。

(3) 体操服等の選定について

【事務局の説明】

- 体操服・ジャージの選定について
- （仮）新体操服・ジャージ導入の検討比較表
- 現取扱業者 体操服・ジャージ選定資料
- その他（松尾小学校・豊岡小学校の交流事業のスライド上映、体操服等のサンプル確認）

【意見の概要】

- ・体操服の上着だけでも行政が用意する可能性はあるのか。
 - 予算枠の有無に関わらず、根本的に難しいと思われる。意見があったことは伝えたいが、いい返事ができるとは限らない。
- ・ジャージが中学校まで一緒のアイデアはいい。体操服の裾がすぼまっていて乾きにくいという意見があるので、体操服をジャージのズボンに入れて着るということであれば、Tシャツタイプでもいいのではないか。
- ・保護者から、指定のジャージをつくらなければならないのかという意見があった。指定がない学校もあり、何回も着ないのはもったいないということである。
- ・ジャージの指定がない学校は、色の指定もなく、子供たちは好きなものを着ている。欠点としては、冬でもハーフパンツのまま寒そうにしていたり、指定がないということで買わない子供もいた。そろっていないので、大会の時に多少恰好が悪いこともある。
- ・松尾中学校のジャージが変わった時、新旧のタイプが混在していた。ジャージのファスナーを開める位置で学年がわかるという着方をしていたので、ジャージそのものを変えた経緯がある。
- ・新しい統合校の指定ジャージはあった方がいいという意見も加えてほしい。
- ・今の校名のままになった場合、体操服等も今のままでいいという意見が出てくる可能性がある。統合による体操服の事例はあるか。
 - ある自治体では、小学校と中学校の名前が同じになるため、保護者の希望により中学校のジ

ジャージに合わせたようだが、小学生と中学生の区別がつかないという指摘もあるという。金額が高くなっても中学校と一緒にしてほしいという保護者の意見で合わせた学校もあるという。校名を入れることによって中学校でも使えるのかということや、統合を機に豊岡小と松尾小が中学校に合わせると、大平小学校はどうなるのかということ由市としては考える。ジャージや体操服等を一新する場合、導入の時期を平成 30 年度にするのか、31 年度にするのか、その方向性を検討していただきたい。

- ・まつおこども園では体操服は自由。園からお願いはしていないが、保護者は白基調の上着や紺か黒のハーフパンツを準備してくれる。年長組は2月ぐらいに入学準備をすると思うが、1年間だけのために購入するのかという質問があるかもしれない。今使っているものが1年生になっても使えると保護者も助かる。
- ・小学校としては問題ない。経済的な部分考えた回答をすると保護者も安心するはず。
- ・山武西小が開校する際、開校してからジャージや体操服も新たなPTA役員で話し合い決めた。開校当時はいろいろな体操服が混在していたが、子供たちはそういうものだと思って生活しており、学校側で共通理解していれば大丈夫ではないか。
- ・31年度から新しいジャージや体操服というが、業者は大丈夫なのか。学校は、変える場合は3年ぐらい前から伝えるように言われる。販売店、業者に負担がかからないように、早く伝えないと不利益を及ぼすのではないか。
 - 販売店には更新時期の予定を伝えているが、再度確認する。
- ・体操服やジャージは31年度から新しくなるという考えでいいのか。決定の時期はいつか。
 - 現在、両校ともハーフパンツは中学校と同じ、体操服は概ね白基調のもので、こども園でも白基調のものでそろっている。事務局で販売店や業者の在庫処理について確認する。ジャージは大平小とのバランスも考え、もう少し検討したい。31年度から統一するというのであれば、デザイン等の決定は来年の夏ごろになる。

【まとめ】

- ・販売店等への在庫の扱いについて、事務局で確認する。
- ・基本的には平成31年4月から体操服、ジャージ等を統一する方向とする。
- ・ハーフパンツについては中学校でも使用できるので、変更しない。

(4) 閉校記念事業について

【事務局の説明】

- 閉校記念事業について
- 閉校式・開校式事例

【意見の概要】

- ・予算が付くということだが、いつまでにどういった形で提案すればいいのか。
 - 市の予算関係であるが、7月から8月にかけて概算要求をするので、それまでに記念誌を何冊つくりたい、記念事業で何をしたい、誰を呼びたいなどで積算できればと考える。
- ・記念誌の作成に関わったことがあるが、昔のデータを集めることが大変だった。実行委員会を

どのメンバーで立ち上げるかの課題もある。松尾小と豊岡小で別々に実施すると市の対応も大変になると思うが、どう考えていくのか教えてほしい。

➤人選についてはある程度学校にお願いすることになると思われる。他の事例では、卒業年度で区切って、10年刻みぐらいで実行委員会をつくっているところもあり、取り組み方はいろいろあるようである。

- ・公式な式典であるから、ルールも必要である。ある程度学校でというが、短い期間で組織を立ち上げ、知らない人と集まったり、会議を開催することに不安もある。実績があれば聞きたい。
- 地域によって人選は違ってくると思うが、他の事例を調べる。市もできるだけ協力したい。

【まとめ】

- ・資料、データは事務局で作成する。
- ・学校ごとの課題として内容を考えていくこと。

(5) その他について

【次回について】

- ・校名応募の集計にあわせ8月下旬の開催を想定していたが、実行委員会については早めに話し合いをする必要があると思われる。7月中に学校とPTAで集まりたいがどうか。
- 7月中に、総務部会全体ではなく、学校とPTAで集まり会議を開催し、総務部会全体の会議は8月下旬に開催する。日程については、いずれも調整後、後日連絡する。
- ・各学校のPTA規約等をもとに、今後の話し合いを進めていただきたい。